



TITLE:

編集後記・編集委員・購読要項・
投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記・編集委員・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1977, 23(9):
876-876

ISSUE DATE:

1977-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122149>

RIGHT:

編 集 後 記

小誌の掲載料について、すこし高いのではないかという苦言を頂戴することがある。たしかに、安い費用で、論文が正確、鮮明に印刷されてこの世に出ることが学術発展のために望ましい。しかし学会組織を背景にもつ出版ではないので、財源としては、購読料、掲載料、それにわずかの広告料しかなく、類誌に比しご指摘のようなこともありうるので心苦しく思っている。

小誌の掲載料は、原則として、その論文の誌面構成のための費用、すなわち組版代、図表の作成代についてのみの印刷会社からの請求額だけをいただいている。すなわち、紙代や印刷代は含まれていない。ご承知のように、現在は専門技術に対する代価が高い時代になっている。一頁一頁ぎっしり活字を埋めていくのは大変な仕事であって、熟練した植字専門職の人でも、泌尿紀要の誌面を1日3~4ページ組めればいいほうであろう。掲載料についてもこのような点をご理解いただき、こんごともご協力のほどお願い申しあげる。 (T.T.)

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重	新 谷 浩
園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

泌尿器科紀要 第23巻 第9号

1977年12月25日 印刷

1977年12月31日 発行

創刊 稲田 務

顧問 加藤 篤二

定価 500円(送料別)

発行 吉田 修

発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入